

ナス畑に転換整備された伝法地先六人新田

国は米の過剰を解消するため、これまで水田利用再編政策を進めてきました。今年から昭和58年度までをその第2期として、引き続き稲作転換を推進していくことになりました。

稲作を他の農作物に転換すると、転作奨励金が支給されます。今年からは特に、集落の水田所有農家が話しあって、地域ぐるみで転作を計画的に行うことが奨励され、転作奨励金の内容もそれに見合っ変更されました。

富士市の場合、昨年は目標の14%を超過達成しました。今年の転作目標面積は、昨年より13%増え386.4%です。これは富士市の水田の3分の1に当たります。

気候にも比較的恵まれ、ほかの地方より転作が容易とはいふものの、やはり農家にとっては大きな問題。各地区ごとに話しあいが行われています。

稲作転換 水田の三分の一

地球を2周する古米の在庫



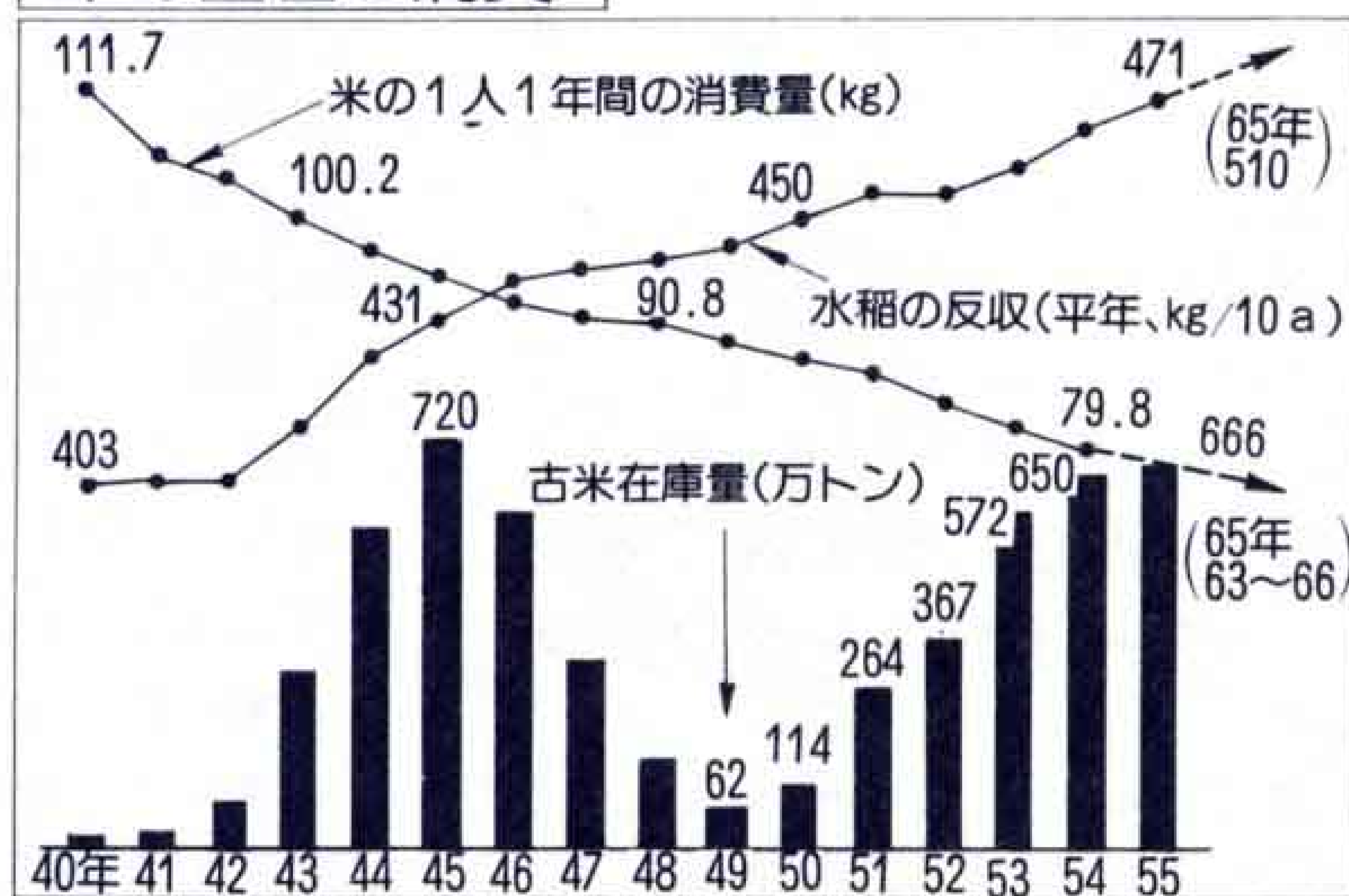
生産技術の向上などによって、米の収穫は増加してきました。

しかし、食生活の変化などで米の消費量は減る一方です。

今や全国の古米の在庫はますます増え666万トン。これは国民の消費量の7ヵ月分に相当し、麻袋(60kg)に詰めて並べると地球を2周するほどとか……。

そして今年もまた、稲作転換の時を迎えました。

米の生産と消費



グループ訪問④

SFファンのグループ 銀河亭宙食会

「時間や距離を超越した非常識の世界、空想化学小説を楽しむには常識を知っていないと…」まず会員が話します。

それまであった富士SF友の会を発展させて「銀河亭宙食会」が発足したのは昭和54年。以来月2回の例会と月1回のSF小説の読書会が続いている。自分だけではしまっておけないSFの感動、それを受け入れ共感してくれる仲間がいる。メンバーの誰にも共通する気持ちなのだろう。手づくりの機関紙・誌からもそんな雰囲気を読みとれる。プロ顔負けのイラストが随所に見られる。



〔本を持ちよって喫茶店での例会〕

SFだけにとどまらず映画、マンガ、アニメーションと分野が広がっている。集団で映画を見に行くこともしばしばあるとか。現在のメンバーは男7人、女3人、そしてなぜかエイリアン一匹が常連だそうだ。

連絡先 本多良治宅 ☎33-0368